

公開討論会「デモかパレードかピースウォークか」レジュメ

911 直後に考えたこと

- ・関心が壁を越えた いかにも集える場をつくるか？ / テロ、戦争を包括的に捉える / 自発的、継続的な行動に結びつける / できることから始めよう、そして視点の質と幅を変えていこう
- ・ピースウォークのコンセプト WPN に拡大した場合の齟齬
- ・自分たちが置かれている立場や環境を自覚する
- ・非暴力についての考え方 権力との向き合い方
- ・少数に拘るか、それとも多数を目指していくのか
- ・「創り出す」イメージと行動の重要性 一歩踏み出すことを応援する 事例の紹介

この 30 年間の世相の変化をどう捉え、どのように運動を作り上げるか

- ・経済成長、他国に比べ再分配が機能、中流意識
- ・核家族化、「個」の暮らしからの切り離し 連帯意識の希薄化
- ・ボランティア：「偉いわねえ」 市民運動：「危ない思想なんじゃないの？」のギャップ
- ・構造的問題の解決に向かうよりも自責の念に囚われやすい風潮 自殺、ひきこもり問題
- ・最も嫌いな言葉 「夢」、「希望」
- ・市民運動の断絶と環境 NGO の登場

伝える対象について

- ・例えば CHANCE! は特例か？ 自分たちの運動についての自己批判は？
- ・誰に伝えたいのか？ そのためにはどのような行動が必要なのか？
- ・運動に対するイメージ いわれなき中傷 / 内向きなベクトルの自覚はあるか？
- ・人々を巻き込むことへの自覚は？
- ・PR の観点 対象の嗜好や価値観を考慮 論壇や新聞で主張することの意義と限界
- ・伝えようとする努力、態度について 忌避感の克服 / 市民参加をあたり前のものにしていく

批判に答える

- ・「運動の経験が引き継がれていない」という指摘について
伝える / 伝わることの違い どのようにすれば伝わるか？ その工夫は？
- ・問題は運動への無知のみか？ 運動家に逆差別や優越意識が本当はないと言えるか？
- ・言論・議論重視 小さな実際の変革重視、ビジョンの提示
- ・周辺部から 何に魅力と可能性を感じたか 例えば再生可能エネルギーやマイクロ・クレジット
- ・互いを理解する努力を継続し身を置く アーノルド・ミンデル インドの王様の寓話
- ・少数排除なのではないかという葛藤
- ・必要があれば出向きます！

運動を担う青年層の性質について

- ・価値観を共有する初めての場 本当に「議論」がないのか？
- ・論理は誰かにお任せでよいのか？ 大衆へのアピールだけ次のステップを担えるか？
- ・自負が奢りに転化していないか？ 常に自覚し続けること 「無関心な人たちに」の危うさ
- ・小異について議論し分裂を招くことへの危惧
- ・過去の運動の否定は自分たちの未来の否定ではないか？